

# 反原発全国署名にご協力を！



## 脱原発！の声をあげよう

福島第 1 原発の重大事故から 8 ヶ月が経過しました。政府は、年内の「冷温停止状態」目標や汚染地域への段階的な住民の帰還計画などを打ち出し、事態の収束をアピールしていますが、日本に住む人々にとって今後数十年にわたる、放射能との長い戦いはまだ始まったばかりです。

関東地方で高い放射線量が計測され、汚染が広範囲に広がっていることが再認識されました。原子炉では核分裂反応が持続し、「再臨界」の可能性が指摘されたのは記憶に新しいところです。

福島第一原発では、現在も多くの労働者が作業に従事し、被曝を強いられています。すでに数名の作業員が死亡していますが、政府・東電は放射能との因果関係を認めず、調査すら行っていません。今後数十年にわたる人員の確保もめどが立たない状況です。

野田首相は、就任後すぐに行われた国連での演説で「原発の安全性を最高水準に高める」と表明、米国での取材では来年の夏までの原発の再稼動に言及するなど、菅政権が進めた脱原発の流れを押しとどめようとしてきました。

そんな中で、今月 2 日には停止していた九州電力・玄海原発 4 号機が再稼動し、10 月 31 日には、来日したベトナム首相との共同会見において、一時的にストップしていた原発輸出を宣言しました。これだけの大事故を起こしておいて、国内での原発建設を主張する政治家はさすがにいません。この危険な原発を金儲けのために、外国に押し付けるようとしているのです。このような暴挙を許してはなりません。

関西では福井・若狭湾に 15 基の原発があり、現在はそのうち 4 基しか動いていません。このままいけば来年春には、全ての原発が停止します。関西電力はまたもや「電力不足」で市民や企業を脅迫し、10 月 28 日には大飯原発のストレステストの結果を発表するなど、原発再稼動に躍起になっています。

もし事故が起これば、福井のみならず関西に住む多くの人々が避難を余儀なくされるでしょう。琵琶湖の水や作物は汚染され、広範囲に深刻な被害が出るでしょう。大飯原発から 30 km 圏内には京都市左京区も含まれます。

緊急の安全対策も不十分で、地震・津波への備えも出来ていない原発の再稼動は絶対に許してはなりません。反原発全国署名で“脱原発！”の大きな声を届けましょう！ 署名用紙はアジェンダ・プロジェクトのホームページからもダウンロードできます。みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。(11. 11.13)

## アジェンダ・プロジェクト京都

〒601-8022  
京都市南区東九条北松ノ木町 37-7  
Tel&Fax 075-822-5035

URL <http://www3.to/agenda/>  
ブログ  
<http://agenda-kyoto.ldblog.jp/>